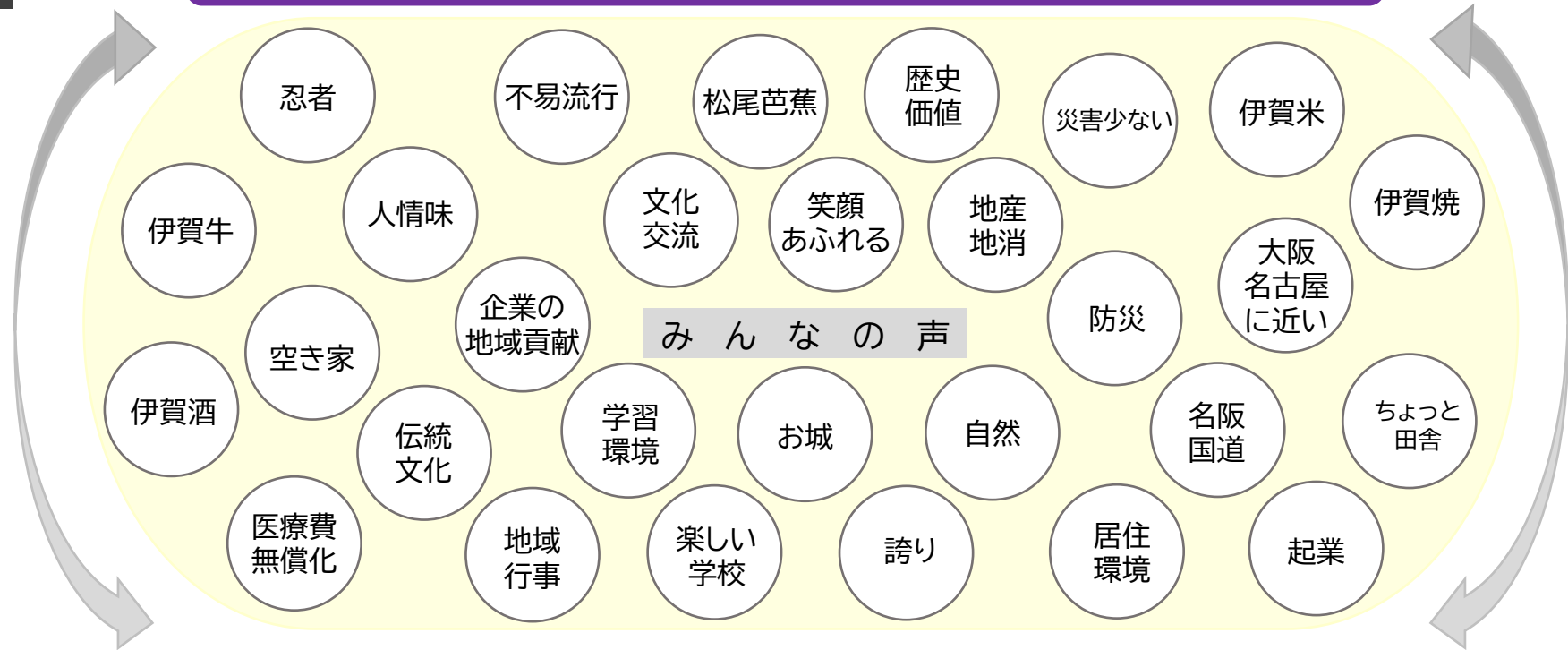


将 来 像

●●●の実現



視点
みんなのテーマ

豊かな人づくり
こどもが育つ、大人も育つ

継承と変革

持続可能なまちを未来へ引き継ぐ

これからの自治
つながりを結び直す

いのち

くらし

ひと

にぎわい

分野のキーワード

計画の推進

○まちづくりに関するアンケート

- ・2025（令和7）年3月に実施
- ・伊賀市eモニター制度を活用し、無作為抽出で選出されたeモニターにまちづくりに関するオンライン入力によるアンケート
- ・伊賀市の強みや弱みについて自由記載で回答いただく
- ・対象はeモニター約1,000人 回答数は119件

強みについて

観光
交通
自然 災害が少ない
地域コミュニティ
企業誘致 名阪国道

弱みについて

交通（市内移動、車中心）
公共インフラ 老朽化
観光地としての魅力不足 宿泊少ない
地域 閉鎖的
広報・発信不足
経済・雇用
福祉、医療の不安
若者 流出

○若者会議 イガビトーク

日 時：2025（令和7）年3月 21 日（金）19 時～21 時

場 所：ハイトピア伊賀5階 生涯学習センター 学習室2

- ・伊賀市若者会議の伊賀市若者会議による伊賀市若者会議のための講演会として、市の政策、施策（伊賀市の将来像）について語りあったのち、会議メンバーによる講演が行われた

イガビトーク内容

題目 伊賀の将来像 望むこと 自らができること

あなたが考える "伊賀市の強み" "よいところ" を教えてください。

1. 観光資源の豊富さ

観光コンテンツ

忍者文化、松尾芭蕉関連、伊賀上野城、だんじり会館など。

歴史的・文化的資源

世界的に有名な忍者文化、上野天神祭など。

自然環境

豊かな自然と美しい景観。

2. 食の魅力

特産品

伊賀米、伊賀牛、苺などの農産物が美味しい。

食文化

地元の和菓子や日本酒が高い評価を受けている。

3. 交通アクセスの便利さ

名阪国道の存在

大阪、京都、名古屋といった大都市へのアクセスが良い。

将来の交通整備計画

リニア中央新幹線の開通など、今後も交通の便が向上する見込み。

4. 福祉と生活環境の充実

高齢者福祉が手厚い

市内で両親を介護している人が市のサポートに感謝している。

人と人との結びつき

地域での共助の絆が強く、非常時には団結力がある。

生活のしやすさ

自然豊かで災害が少なく、安心して暮らせる環境が整っている。

5. 地理的な優位性

大都市圏への近さ

大阪、名古屋の中間地点に位置し、どちらにもアクセスしやすい。

災害リスクの低さ

津波の影響を受けないなど、地震以外の災害リスクが少ない。

6. 自然と気候

自然の豊かさ

自然環境が豊かで、のびのびとした生活ができる。

気候の安定

盆地のため天候が安定しており、大きな気候災害が少ない。

7. コミュニティの強さ

地域の団結力

地域住民の団結力が強く、コミュニティが持続している。

歴史と共助の精神

歴史的な背景から、地域の協力体制が強固である。

8. 企業誘致と産業の発展

企業誘致に適した立地

名阪国道沿線の活用で製造業や物流業の発展が期待できる。

農業や畜産業の盛んさ

豊富な農地を活かした農林業が発展している。

あなたが考える "伊賀市の弱み" "だめなところ" を教えてください。

1. 交通とインフラの課題

公共交通機関の不便さ

電車やバスの本数が少なく、タクシーの営業終了時間が早い。

また、中心部と郊外を結ぶバス路線が不便である。

交通インフラの老朽化

公共インフラの老朽化問題がある。

アクセスの悪さ

特に郊外部や山間部では交通手段が限られており、自家用車が無ければ生活が成り立たない。

2. 観光と地域の魅力不足

観光地としての魅力の不足

観光資源が中途半端で、リピートするだけの魅力がない。

特に「忍者」や「芭蕉」といったテーマに頼りすぎている。

観光施設・宿泊施設の不足

手ごろな値段で宿泊できる旅館が少ない、観光施設が古いままである。

3. 地域社会の課題

一体感の欠如

市町村合併から20年が経つが、一体感がない。

特に北部と南部の統合が進んでいない。

閉鎖的な地域性

外部からの人を受け入れにくい閉鎖的な傾向があり、地域の魅力を活かしきれていない。

広報活動の不足

市の情報が市民に十分に伝わっておらず、広報活動が不足している。

4. 社会的課題

障がい者支援の不足

障がい者が生活しにくい環境であり、支援が不十分である。

子育て環境の改善

子供たちが屋内で遊べる場所や、安心して子育てできる環境が不足している。

医療の課題

分娩できる産婦人科の減少や、休日医療の未熟さなど。

5. 経済と雇用の課題

高収入の職場の不足

若者が地元で働きたいと思えるような高収入の職場が少ない。

商業施設の不足

大きなショッピングモールや、家族で楽しめる施設が少ない。

6. 教育と若者の課題

教育機関の不足

大学がなく、若者のアルバイトなどが得にくい。

若者の流出

若者人口が流出し、若い女性が少ない。

7. その他の課題

公共施設の運営

公共施設の統合や再編が進まず、何のための市町合併だったのか。

特産品の発信力不足

伊賀牛や伊賀米といった特産品が全国に発信されておらず、地産に消えてしまっている。